

第3学年 国語科学習指導案

学級 3年1組 男18名 女17名

指導者 多田 淳子

学級 3年2組 男18名 女17名

指導者 佐々木 貴子

1 単元名 せつめいのしかたをとらえ、食べ物ひみつブックをつくろう

教材名 「すがたをかえる大豆」(光村図書3年下)

「食べ物のひみつ教えます」(光村図書3年下)

2 単元の目標

○食べ物の不思議について関心をもち、進んで調べたりまとめたりしようとしている。

(関心・意欲・態度)

◎中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章を読むことができる。

(読むこと(1)イ)

◎「始め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。

(書くこと(1)イ・ウ)

○表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けることができる。

(伝国(1)イ(カ))

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。 ・食べ物について関心をもち、調べて分かったことを説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる文や接続語に気をつけながら読み、段落相互の関係に気づき、筆者の書き方の工夫を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」の部分で内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。 ・書く目的によって必要となる事項と観点を理解し、適切な事例を挙げて説明する文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語が、文や段落のつながりに果たす役割を考えながら文章を読んでいる。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに教材文「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」を通して、段落や「初め」「中」「終わり」の文章の組み立てについて学習してきた。「初め」には、「問い」の文があり、「中」に問いの「答え」が書いてあることや、「終わり」には、文章全体のまとめが書いてあることを学んできた。ワークシートを使いながら、各段落の中心となる語を見つけ、まとめていき、文章の組み立てを意識して、文章を読んできた。さらに、「このように」という言葉に注目して、文章全体をまとめている段落であることを意識する児童が増えてきた。

また、教材文「気になる記号」では、身近にある様々な記号に関心をもち、自分が選んだ記

号について疑問に思ったことを調べ、報告する文章を書く活動をしてきた。自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を書ける児童が、少しずつ増えてきた。

(2) 教材について

本教材は、大豆やその加工食品について書かれたもので、児童にとって身近なものである。大豆の加工食品は、見ただけでは原料が大豆とは分からないものの多く、児童は驚くものと考ええる。自分の食生活を見直すことにつながり、食育という観点からも貴重な題材である。

本単元は、「すがたをかえる大豆」という説明的文章と、その読み取りを生かし、情報を集めて説明文を書く「食べ物のひみつを教えます」という教材で構成されている。本教材は、1学期に学習した「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」と同じく「初め」「中」「終わり」と全体の組み立ては同じである。大豆をおいしく食べるための工夫を5つの例で説明している典型的な解説型の文章である。「中」の段落は、並列の関係にあり、各段落の最初の文が説明の中心の文となっている。また、「いちばんわかりやすいのは」「さらに」などの言葉を細かく読み取ることで、事例が提示される順番にも考えが及ぶ。また、大豆のすがたや手の加え方が読み手にもっとわかるように、写真を載せるという工夫にも気づく。

そして、本教材での学習は、「食べ物のひみつを教えます」で興味をもった食材を選び、調べたい事柄について情報を収集し、文章構成や順序を意識しながら文章にまとめる学習へとつながっていく。

(3) 指導にあたって

本単元では、「C 読むこと」の「イ 目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え文章を読むこと」「B 書くこと」の「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」「ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」を指導事項とする。そこで、言語活動例「書くこと」「ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くこと」を具現化し、「説明の仕方をとらえ、食べ物ひみつブックを作ろう」を言語活動として位置付ける。学習材「すがたをかえる大豆」の学習において身につけた中心となる言葉や文に着目しながら段落の内容を読み、全体の組み立てを捉えたり、文章の説明の仕方の工夫を見つけたりする力を、食べ物ひみつブックの記述に生かすことで、身につけたい力の定着を図ることができるように考える。

第一次では、学習の見通しをもたせる。単元のゴールのイメージを膨らませ、毎時間目的意識をもたせて学習に取り組むことができるように、「食べ物ひみつブック」の一部をモデルとして提示する。そして、毎時間の導入では、この単元と単元のゴールと本時の学習の関連を意識させながら、本時のゴールの明確化と今まで習ったどんな力が使えそうかの見通しをもたせ、学びの振り返りを裏付けるものとする。

第二次では、文章を読み、説明の仕方を捉える。大豆が食べ方の工夫により、別の食べ物に変わることを読み取る活動をする。自力解決やペア学習、全体交流の場を設定し、自分の考えをもたせたり自分と友だちの意見を比べたりする活動を通して、「中」の部分に例が並んでいる構成を知ったり、段落の始まりに「つぎに」「また」「さらに」などの順番を表す言葉が使われている、「食べ方の工夫を述べてから、食べ物の名前を紹介している。」「段落がこのような順番になっているのは、理由がある。」ということに気付くことができるようにする。更に、

大豆が別の食べ物に変わることを読み取らせていくために、挿絵（写真）を使った視覚的な工夫や、「食べ方の工夫」「大豆から変わった名前」が書き込めるワークシートに取り組み、段落の一番中心になる文を見つけることに慣れさせ、段落相互の関連を考えさせる資料にさせる。

第三次では、説明の仕方を生かして、自分で「食べ物ひみつブック」を作る活動をする。並行読書をもとに読み取った内容は、段落を意識し、中心となる文や順番を考えながら文章を書く。書いた文は、友達と読み合い、友達の書いた文章に感想をもつ。

5 研究に関わる手立てについて

(1) 手立て1 身に付ける力を明確にした言語活動の工夫について

- ・子ども達と共に次時の学習課題考えていく活動を授業の中に盛り込む工夫。
- ・全文を読むことができるワークシートの提示。
- ・自分の考えを付箋に書き、ワークシートに貼る活動。
- ・教師が考えたモデル文の提示。
- ・ペアでの話し合いを行うことで、自分の考えを伝えたり、整理したり、ヒントをもらったりする機会を設ける。

(2) 手立て2 効果的な振り返り活動の工夫について

- ・本時で学んだ「まとめ」をもとに、次時の授業に生かせるような振り返りをさせる。
- ・段落の並び方の順序の工夫と説明の仕方についての振り返りをさせる。
- ・読み取ったことが書くことにつながるような「振り返り」をさせる。

6 単元指導計画（12時間）

段階	時間	学習目標	学習活動	指導の手立て☆評価（方法）
つかむ (二次)	1・2	○大豆が様々な食べ方をされていることに関心をもつことができる。 ○単元の学習のめあてを確かめ、学習計画を立てることができる。 ＜単元のゴール＞ 食べ物ひみつブックを作ろう。	・「食べ物ひみつブック」を作る、という学習のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ・食べ物が変化していく様子について書かれた本を読んだり、読み聞かせを聞いたりして、並行読書の見通しをもつ。	・「食べ物ひみつブック」を作るために、「すがたをかえる大豆」の著者が工夫したことを読み取り自分の学習活動に活かしていくという学習のめあてを意識させていく。 ・並行読書をしていくことを確認する。 ☆学習の見通しをもち、大豆が様々な食べ方をされていることに関心をもって、文章を読もうとしている。 (観察・ノート)
わかる (二次)	3	○教材文を「はじめ」「中」「終わり」の大きく3つに分け、それぞれのおおまかな内容と役割をとらえることができる。	・文章の構成とそれぞれの部分のおおまかな内容と役割をとらえる。 ・「はじめ」「中」「終わり」の文章構成、「問い」の形をとらない話題提示であることを確かめる。	・今までの単元と違う点を考え、読み取っていく。 ☆「はじめ」「中」「終わり」という文章の構成の仕方になっていることを理解している。 (発言・ワークシート・ノート)

4 (二組 本時)	○「中」の段落内容を読み取り、説明の仕方の工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」の部分を読み、段落ごとの説明の工夫をとらえる ・写真と本文を対応させる。(「くふう」□「食品」の順) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く順がそろっていると読み手が分かりやすいということに気づき、ひみつブック作りにつながる知識としておさえる。 ☆中心となる文をとらえ、5つの段落に共通する説明の仕方について理解している。(発言・ワークシート・ノート)
	○「中」の段落内容を読み取り、段落の並べ方の工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」の部分を読み、段落の並べ方の工夫をとらえる。 ・「くふう」(加工)が簡単なものから、難易度の高い物へと例を挙げていることに気づく。 ・接続語の使い方について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の並べ方が適切であると分かりやすくなる、ということに気づき、ひみつブック作りにつながる知識としておさえる。 ☆段落相互の関係を整理し、効果的な説明の順序について理解している。(発言・ワークシート・ノート)
	○「すがたをかえる大豆」の説明の工夫について話し合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで文章を読んで考えてきた工夫を、グループで話し合いながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を使い、説明の仕方を可視化し、共通理解を再度確認できるようにしていく。 ☆効果的な説明の仕方について理解している。(発言・ノート)
活かす (三次)	○大豆以外の食品の加工をまとめるため、並行読書をもとに読み取った内容を整理し、図や表でまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆以外の食品の加工をまとめるため、並行読書をもとに読み取った内容を整理し、図や表でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッピングと言葉の説明で、いつでも確認できるようにする。 ☆効果的な説明の仕方について理解している。(ワークシート)
	○文章の組み立てを考え、下書きを書くことができる。 ○中心となる文や説明したい順序を考えながら下書きをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の組み立てを考える。 ・「はじめ」「おわり」の部分の下書きを書く。 ・中心となる文や説明したい順番を考えながら「中」の部分の下書きを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「はじめ」「中」「終わり」という文章の構成のそれぞれの役割を理解している。(ワークシート・ノート) ☆接続語の果たす役割に気をつけながら文章を書いている。(ワークシート・ノート)
	○文章全体を推敲することができる。 ○清書する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体を推敲する。 ・推敲した文をもとに、清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆効果的な説明の仕方について理解している。(原稿用紙・ノート)
	○単元の学習を振り返り友達の発表に対して、感想を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を振り返るため、お互いに読み合い、分かりやすい説明の仕方を確かめ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文をしっかりと相手に伝えられるように個人で練習、グループで練習、クラスで発表の順をふむ。 ☆効果的な説明の仕方について理解し、友達の書いた文章に感想をもっている。(発言・ノート)

7 本時の指導（2組 4／12時間）

（1）目標

「中」の部分を読み、段落ごとの説明の工夫を見つけることができる。

（2）展開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (5分)	<p>1. 本時の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した文章の構成を想起する。 ◆「はじめ」「中」「おわり」の大きく3つの段落に分かれている。 ◆「問い」がない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><学習課題> 「中」のせつ明のわかりやすさのひみつを見つけよう。</p> </div>	<p>○前時は、文章の構成とおおまかな内容と役割をとらえ、説明文を読み取っていく手がかりになったことを確認する。</p> <p>○今までの単元と違う点を考えながら読み取っていくことを確認する。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のゴール、くふうを本文から見つけ、確認する。そのために、段落の中の中心となる文を見つけていく。</p> </div>
深める (33分)	<p>2. 段落の内容を読み取る。</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・③の段落を読み、くふうにサイドラインを引きながら、本文のどこに書かれているのか確認する。 ・食品を□で囲み、同様に確認する。 ◆「大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふうです。」に線を引く。 ◆豆まきに使う豆、に豆、黒豆を囲む。 <p><自力解決></p> <ul style="list-style-type: none"> ・④⑤⑥⑦の段落の内容を読み取り、くふうと食品を表にまとめる。 ◆くふうにサイドラインを引いたり、食品を囲んだりしながら、まとめていく。 <p><ペア学習により></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのくふうと食品について確かめ合う。 <p><全体交流により></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのくふうについて確認する。 ・文章の中で、分かりやすい書き方があ 	<p>○③段落を全体で読み、確認する。</p> <p>○「黒豆」は「に豆」の一つであることをおさえる。また、に豆には、黒や茶、白などいろいろな色の大豆があることを知る。</p> <p>○段落相互の関係が分かるように、写真を用いる。</p> <p>○くふうと食品の関係が分かりやすくまとめられるようにする。</p> <p>○食品の写真を参考に考えさせる。</p> <p>○くふうという言葉に着目しながら、考えさせる。</p> <p>○ペアで話し合いを行うことで、自分の考えを伝えたり、考えを整理したり、ヒントをもらったりする機会を設ける。</p> <p><手立て1></p>

	<p>ったか考えさせる。</p> <p>◆段落のはじめの文に工夫が書かれている。</p> <p>◆くふうがキーワードになっている。</p> <p>3. 本時のまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><まとめ> せつ明の中心になる文がはじめに書かれている。</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペアでの話し合いを行うことで、考えを伝えたり、整理したり、ヒントをもらったりする機会を設ける。友達と交流し、考えを深める。</p> </div> <p>○くふうの後に食品の説明があることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 大豆をおいしく食べるくふうには、いつたりにたり、柔らかくしたりする工夫、粉に引いて食べる工夫、大切な栄養だけを取り出して違う食品にする工夫など、5つのくふうがあることを読み取り、段落相互の関係を理解することができる。 (発言・ワークシート)</p> <p>【支援】 ワークシートの記述と本文を照らし合わせながら、工夫が書かれているところに気づかせる。</p> </div>
<p>振り返る (7分)</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><振り返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったこと・できたこと ・今後の学習に生かしたいこと </div> <p>◆段落の一文目が大事な文だということが分かった。</p> <p>◆まよっていたけれど、○○さんの考えを聞いて、わかった。</p> <p>◆食べ物ブックを作るときには、大事なことをはじめに書くようにしたいと思う。</p> <p>5 次時の確認をする。</p>	<p>○本時の学習の感想なども大事にして、達成感を持たせる工夫をする。</p> <p>○早く書くことができた児童には、チャレンジとして「友達から教えてもらったこと」「次の学習で頑張りたいこと」も書くように指示する。</p> <p>○次は、「すがたをかえる大豆」の段落の順番の工夫を考えていくことを確認する。</p>

(3) 板書計画

<p>㊦ せつ明の中心になる文がはじめに書かれている。</p>	<p>本文</p> <ul style="list-style-type: none">• 本文中の「くふう」にサイドラインを引く。• 食品を□で囲む。• 食品の説明を本文で確認する。	<p>㊧ 「中」のせつ明のわかりやすさの「ひみつ」を見つけよう。</p>
		<p>すがたをかえる大豆 国分 牧衛</p>

7 本時の指導（1組 5/12時間）

（1）目標

「中」の段落内容を読み取り，段落の並べ方の工夫を見つけることができる。

（2）展開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (3分)	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><学習課題> 段落の並び方の「ひみつ」は、何だろう。 ◆その順番にした理由がありそうだな。</p> </div>	<p>○モデル文の提示により、本時の課題を確認する。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の学習のゴール、「段落の順番にも意味があるのでは」ということを確認し、そのためには、前時に学習した中心となる文章の比較をすればわかるのでは、と見通しをもたせる。</p> </div>
深める (35分)	<p>2 事例の順番の工夫について考える。</p> <p><自力解決により></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習したことや教科書の写真をもとに、なぜ、その順番なのか考え、ワークシートに記入する。 <p><ペア学習により></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと意見交流し、ワークシートに記入したことと写真を照らし合わせながら、自分の考えを整理する。 <p>3 読み取ったことから、段落の工夫をまとめ確認する。</p> <p><全体交流により></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を発表し合い、学級全体で交流する。 ◆「いる」□「粉にする。」□「大切な栄養分だけとりだす。」おいしく食べるための工夫がどんどん難しくなっている。なのでこの順番にしたと思います。 ◆大豆だとわかる食品から、わかりにくくて時間がかかる食品の順に説明しているから。 ◆分かりやすい順だから。 ◆簡単に作られる順番だから。 <p>4 段落をその順番にした理由をまとめる。</p> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>読み手が分かりやすくなるように、おいしく食べるための工夫を、簡単な物から難しくなる物の順に、段落が並んでいる。</p> </div>	<p>○自分ならどんな順番で並べるか、と問うことで国分さんと自分の考えを比べ、分かりやすい並び順を考えられるようにする。</p> <p>○食品の写真を提示し、視覚化する。なぜ、その順番で貼り付けているのか考えさせる。</p> <p><手立て1></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の考えを付箋に書き、ワークシートに貼る活動をする。友だちと意見交流し、考えを深める。</p> </div> <p>○概ね出来ている児童には、そう思う理由を写真と本文を対応して説明させる。</p> <p>○枝豆ともやしは、「取り入れる時期や育て方の工夫」なので順番は、最後でよいことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】</p> <p>写真や本文を基に、食べ方の工夫が簡単な物から難しい物の順番になっていることがわかる。</p> <p>(発言・ワークシート・ノート)</p> <p>【支援】</p> <p>ワークシートの記述から、食べ方の工夫(調理の仕方)が時間がかからない物からかかる物へと説明していることを気づかせる。</p> </div>

振り返る (7分)	<p>5 本時の学習を振り返る。 <手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><振り返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったこと, ・今日の学習でできたこと ・これからの学習に生かしたいこと </div> <p>◆段落の並び方の秘密が分かった。 ◆「いる」「すりつぶす」「小さな生物の力をかりる」という言葉から、食べ方の工夫が簡単な物から難しい物の順になっていることがわかった。</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>○本時の学習の感想なども大事にして,達成感をもたせる工夫をする。</p> <p>○早く書くことができた児童には,チャレンジとして「友達から教えてもらったこと」「次の学習に頑張りたいこと」も書くように指示する。</p> <p>○子ども達の考えから,次時は,教材文全体のこと確かめる学習ということを確認する。</p>
--------------	--	---

(3) 板書計画

<p>すがたをかえる大豆 かだい 国文 牧衛</p>	<p>だんらくのならびかたの「ひみつ」は、何だろう。</p>	<p>わかりやすいじゆん 大豆の形がそのまま、きなこ、とうふ</p>	<p>作るのがかんたんなじゆん そのままにる、すりつぶす、 ナットウキン</p>	<p>早く作られるじゆん すぐ、一ばん、一日、半年</p>	<p>取り入れる時期、育て方の工夫</p>	<p>まとめ</p>	<p>おいしく食べるための工夫が、簡単な物から難しくなる物の順に、段落を並んでいる。</p>
写真	写真	写真	写真	写真	写真	写真	写真